

丸森地区 河川防災ステーション 整備・利活用に関する説明会

令和4年2月17日（木）

19:00～

丸森町、国土交通省仙台河川国道事務所

丸森地区 河川防災ステーション整備・利活用に関する説明会

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 丸森地区河川防災ステーション整備・利活用に関する検討状況の説明
 - (1) 河川防災ステーションについて
 - (2) 整備内容と利活用について
 - (3) 周辺整備について
- 5 質疑応答
- 6 閉会

■ 検討経緯

- 令和元年東日本台風による災害からの復旧・復興を進めるにあたり、今後も発生が予想される大規模災害の際に防災活動拠点となる河川防災ステーションを整備することとなりました。
- 地域の安全・安心に加え、地域の交流・憩いの場となるような河川防災ステーションの整備を進めるにあたり、「丸森地区河川防災ステーション整備・利活用検討委員会」を設置して検討してきました。
- 河川防災ステーションについて、災害時の防災活動拠点とすることはもちろん、1年の大半を占める平常時において利活用しやすい場とすることにも重点を置き、整備内容の検討を進めてきました。

【検討委員会の構成】

機関	所属
学識アドバイザー	東北大学大学院
	東北大学災害科学国際研究所
地元	丸森町観光物産振興公社
	丸森町商工会
	丸森町消防団
	丸森地区協議会
行政	国土交通省仙台河川国道事務所
	宮城県大河原土木事務所
	丸森町役場

【これまでに開催した検討委員会】

No.	日程
第1回	R3.11.16
第2回	R4.1.17
第3回	R4.3下旬（予定）

■事業実施箇所

次に示す点を踏まえ、河川防災ステーションの位置を決定しました。

【災害時】

- 予定箇所周辺は「令和元年東日本台風」による浸水が発生した場所
- 緊急輸送道路に位置づけられている国道113号沿いにあり、**広域的な拠点として活用可能**
- 市街地に近く、**住民の緊急避難場所としての機能が高い**
- **丸森町役場の代替機能(支援物資等の集積所、仕分け拠点)を担うのに最適な場所**

【平常時】

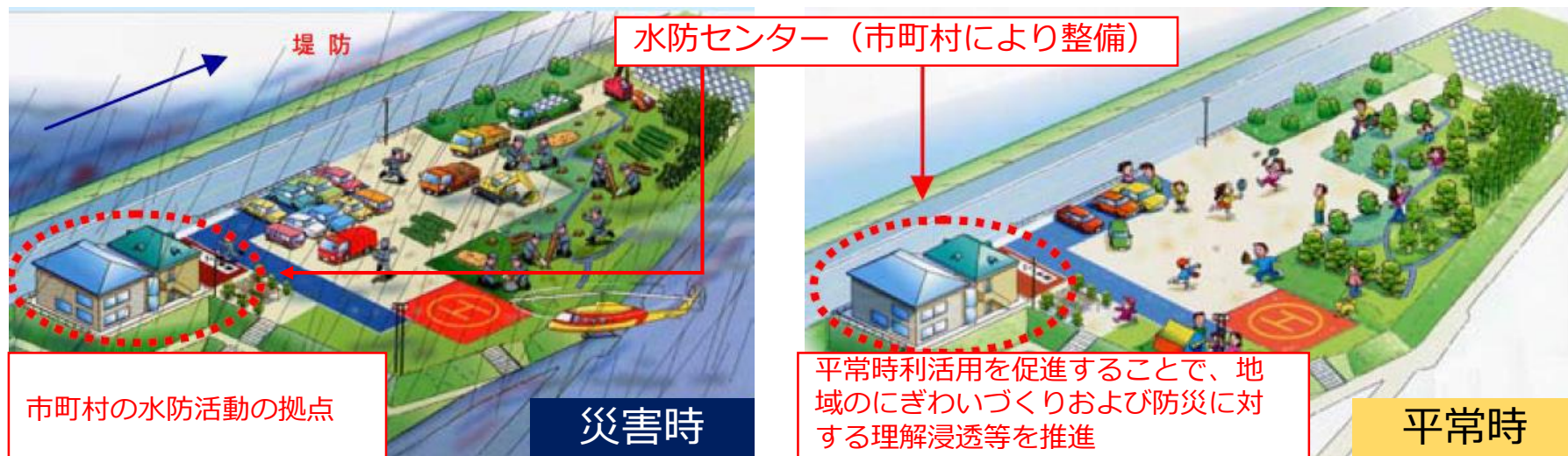
- 人流のメインとなる国道113号に隣接し、**ここを拠点にまちなかへ人を誘導するゲートウェイとして絶好の場所に位置づけられる**



■河川防災ステーションとは

- 河川防災ステーションは、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を備蓄しておくほか、資材の搬出やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保しています。
- 洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧を迅速に行う前線基地となります。
- 平常時には、地域の人々の交流や憩いの場として、また川や防災に関する学習の場、河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。

【主な整備のイメージ】



【丸森地区河川防災ステーションにおける施設整備の予定】

- ・ 水防活動の拠点
- ・ 周辺地区の一時避難場所

- ・ 防災意識の高揚及び防災学習の場
- ・ 地域のイベントや水辺空間を活かした拠点

■ 応急復旧工事の流れ と 河川防災ステーションの役割

- 堤防が決壊した際は、ただちに応急復旧工事（荒締切工）に着手します。
- 24時間体制で作業を進め、すみやかに仮堤防を設置し、護岸によって補強します。

作業状況写真 出典：国土交通省 関東地方整備局

被災状況把握

水位低下後、堤防決壊箇所の状況を確認します。



作業ヤード造成

土砂^①で建設機械が作業を行うスペースをつくります。

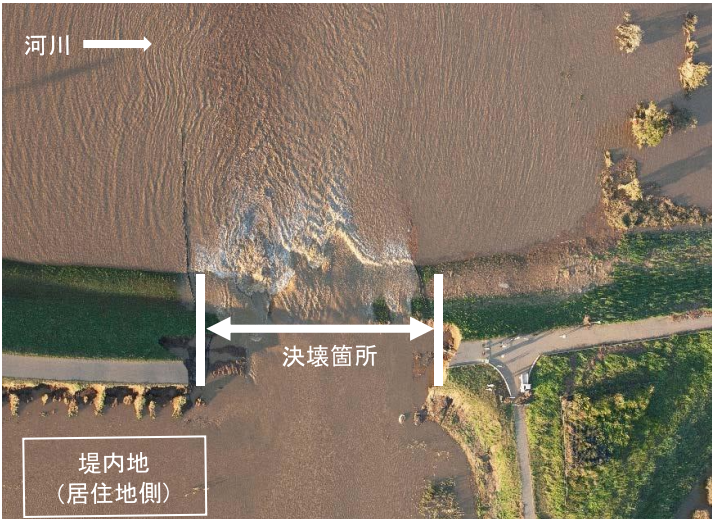


仮堤防(盛土)着手

根固めブロック^②や岩ズリ^③を用いて、氾濫した水によって掘られた地盤を埋め戻し堤防の基礎を固めた後、盛土します。



仮堤防(盛土)終了

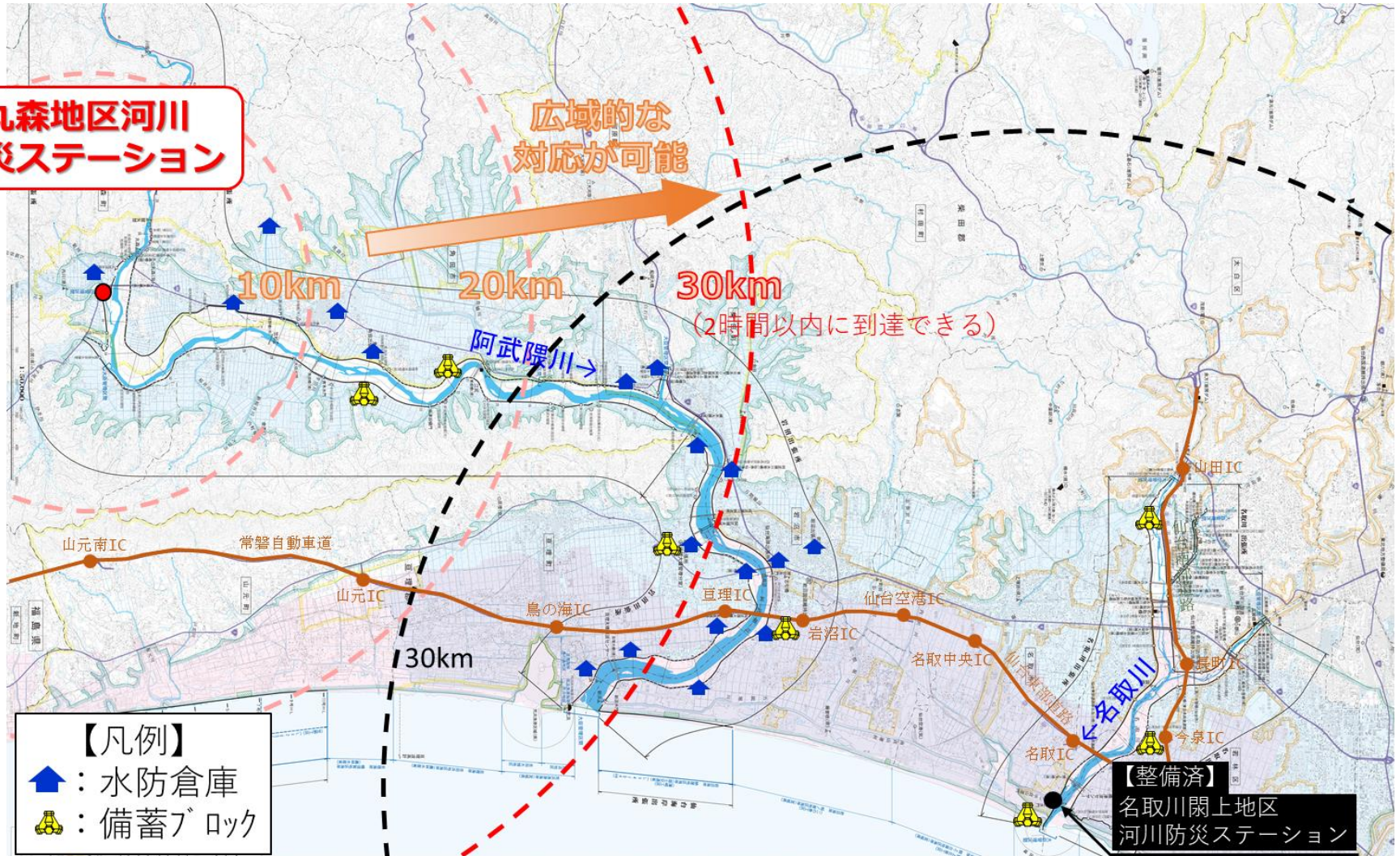
ブロック張工 終了
荒締切工 終了

盛土した仮堤防を遮水シートで覆い、その上から連節ブロック^④を張って補強します。



■丸森地区河川防災ステーション

- 丸森地区河川防災ステーションは、阿武隈川の洪水被害に対応するための水防資材を備蓄します。
- 施設完成後は、阿武隈川その他周辺地域を流れる川で洪水被害が発生した場合についても、河川管理者からの要請に基づき、協力・対応することが可能となります。



■丸森地区河川防災ステーションの整備内容について

《防災ステーション整備のポイント》

- 日常利用に配慮した空間づくり
- 阿武隈川の眺望を活かした施設配置
- 国道からのアクセス性
- 災害時の迅速かつ効率的な活動

《水防センター整備のポイント》

災害対応 施設として
(防災活動の拠点、避難者の一時待機場所)

- ★ポンプ車車庫
 - ★水防団待機室
 - ★備蓄庫
- ★1住民の一時避難
★2炊き出しスペース

☆トイレ・シャワー室



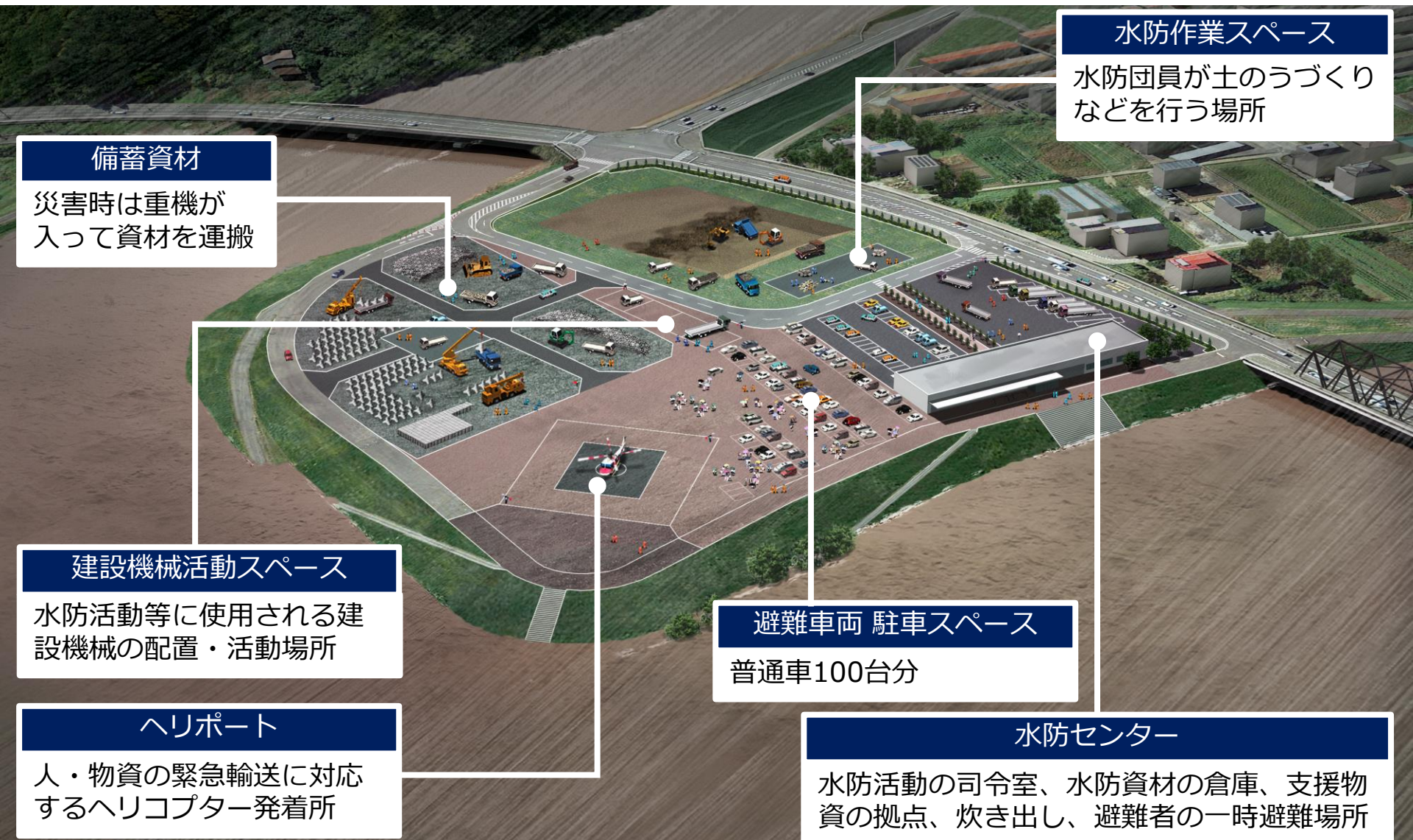
- ★1防災学習展示ホール
- ★阿武隈ライン舟下り
- ★2飲食・物販コーナー
- チケット売り場・待合スペース

平常時利活用 施設として
(まちのゲートウェイとして地域の交流・憩いの場、舟下りやイベントの拠点に)

丸森地区河川防災ステーション施設利用イメージ

災害時

○ 水防活動や災害発生時の復旧活動に迅速に対応できる活動拠点として利用します。



水防作業スペース

水防団員が土のうづくりなどを行う場所

備蓄資材

災害時は重機が入って資材を運搬

建設機械活動スペース

水防活動等に使用される建設機械の配置・活動場所

ヘリポート

人・物資の緊急輸送に対応するヘリコプター発着所

避難車両 駐車スペース

普通車100台分

水防センター

水防活動の司令室、水防資材の倉庫、支援物資の拠点、炊き出し、避難者の一時避難場所

丸森地区河川防災ステーション施設利用イメージ

平常時

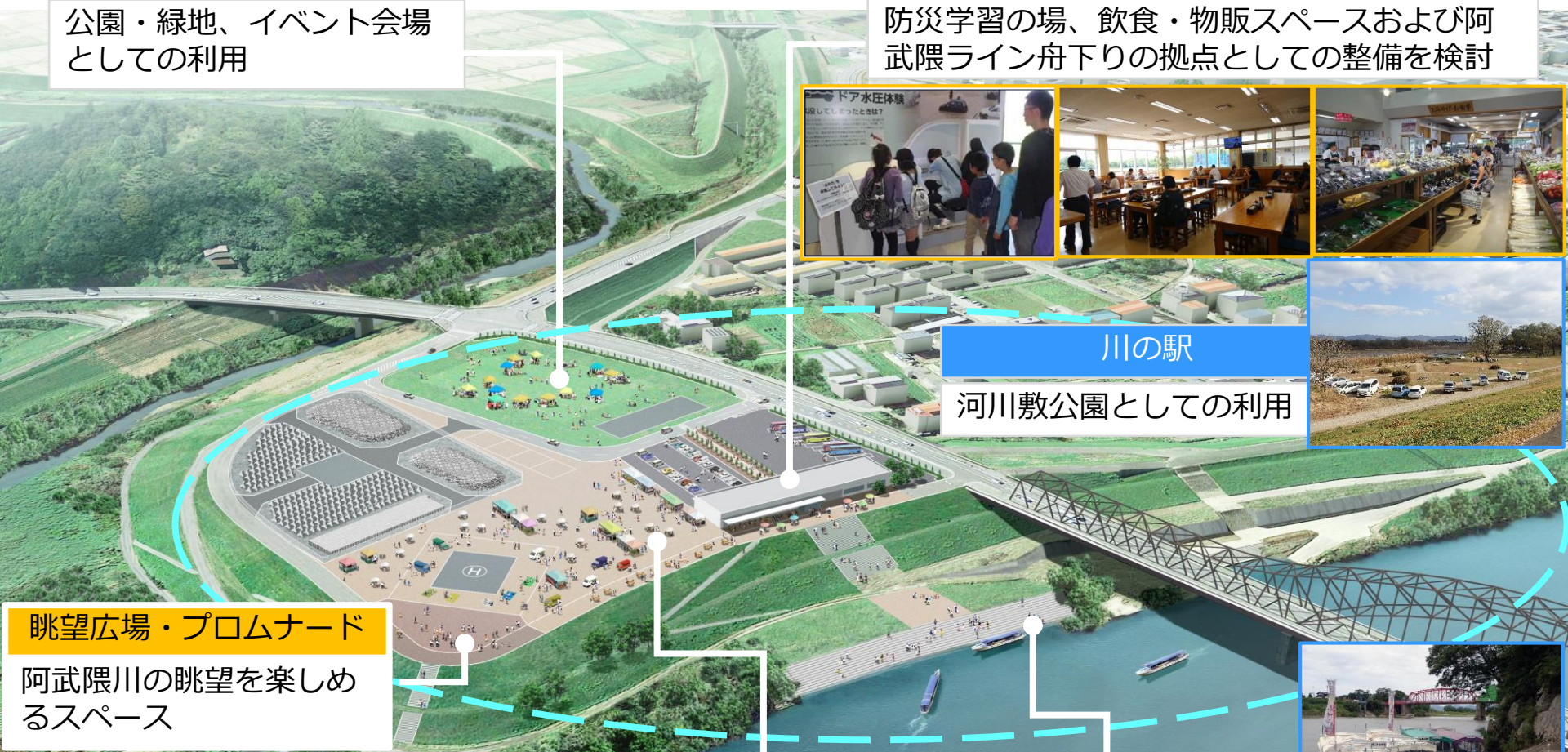
○ 資材備蓄は南側エリアに集約し、北側エリアは**多目的に活用**することができます。

芝生広場

公園・緑地、イベント会場としての利用

水防センター・観光交流センター

防災学習の場、飲食・物販スペースおよび阿武隈ライン舟下りの拠点としての整備を検討



川の駅

河川敷公園としての利用



眺望広場・プロムナード

阿武隈川の眺望を楽しめるスペース



イベント広場

マルシェや軽トラ市等を行えるイベント広場

阿武隈ライン舟下り船着場

階段状の船着場整備を検討



■河川防災ステーションと一体となった周辺整備（案）

周辺整備

河川防災ステーション周辺に拡がる良好な河川空間を人々の憩いや癒やしの場となるよう整備

整備施設（案）
散策路、休憩スペース、眺望広場 等

じゃぶじゃぶ池
（環境学習）



水辺の楽校

子供たちが水とふれあい、学習できる場
川に親しみを覚える施設を整備

利活用メニュー（案）
水遊び、魚の放流、環境学習、防災学習

施設整備（案）

- ・せせらぎ水路：内川から水をひき日常的に一定の水が流れる
- ・じゃぶじゃぶ池：常にある程度の水位を保つ
- ・飛び石：河川防災ステーションと桜づつみ公園を結ぶ

川の駅

河川防災ステーションを
「まちのゲートウェイ」に



フラワーロード



水辺の楽校 整備イメージ 拡大図



かわみなとフットパス 約3km(徒歩約35分)

丸森町の川湊・渡し・城跡・橋の歴史を訪ね歩く散歩道。町と川のつながりを学ぶ

A 河川防災ステーション・阿武隈ライン舟下り乗船場 → B 鳥屋嶺神社 → C 船場地区（フラワーロード整備）
→ D 丸森橋 → E 姥石 → F 丸森大橋 → A

飛び石

